

## 少数台数のリコール届出の公表について（平成17年9月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成17年9月は下記のとおり9件の届出がありましたので、公表します。

## 1. 届出者：TCM株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月6日	1510	車名：TCM等 型式：S32等 通称名：L27等	15	平成12年11月25日～ 平成15年11月19日
不具合の部位等	かじ取装置と除雪装置の作動油を兼用している車両の、除雪装置の油圧回路において、戻り側の油圧ホースの耐圧性及び取付部の締付力が不足しているため、作業中に当該ホースが外れ作動油が漏れるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、作動油がなくなり、かじ取操作ができなくなるおそれがある。			

## 2. 届出者：コーンズ・アンド・カンパニー・リミテッド

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
9月9日	外1247	車名：フェラーリ 型式：GH-F612 通称名：612スカリエッティ	13	平成16年7月2日～ 平成16年11月27日
不具合の部位等	発電機の電気配線の固定方法が不適切なため、原動機等の振動により当該電気配線の分岐部付近の配線が相互に干渉し、被覆がはがれることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該配線が短絡して焼損し、最悪の場合、火災に至るおそれがある。			

## 3. 届出者：フィアットオートジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
9月13日	外1255	車名：アルファロメオ 型式：GH-936A11 通称名：アルファ 166 3.0 V6 AT	50	平成16年4月27日～ 平成16年12月6日
不具合の部位等	燃料タンクに溶着されているベントパイプの取り付けが不適切なため、当該燃料タンクの膨張・収縮の繰り返しにより、ベントパイプの取り付け部に亀裂が入ることがある。そのため、タンク内の燃料が多い場合、燃料が漏れるおそれがある。			

## 4. 届出者：コーンズ・アンド・カンパニー・リミテッド

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
9月13日	外1257	車名：フェラーリ 型式：E-F40 通称名：F40	54	昭和63年7月8日～ 平成4年5月31日
不具合の部位等	サスペンションフォーク固定用スレッドピンの強度が不足しているため、市場において、キャンバー調整用シムの誤った取付け、又は、ロアアームのブッシュが改造された場合、当該ピンへの負荷が増加し、破損することがある。そのため、最悪の場合、走行安定性が損なわれるおそれがある。			

## 5. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月14日 (公表済み)	1512	車名：三菱 型式：PA-BE63DG等 通称名：ふそうローザ	65	平成16年9月17日～ 平成17年6月1日
不具合の部位等	ハイドロリックユニットに接続する電気配線のコネクタ部に誤品が組付けられたため、当該コネクタ部からハイドロリックユニットに水が浸入するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該ユニット内部が腐食して導通不良となり、最悪の場合、当該ユニットが誤作動し、ブレーキペダルを戻しても制動力が解除されないおそれがある。			

6. 届出者：株式会社タダノ

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月15日	1528	車名：タダノ 型式：TR120 通称名：CREVO120	24	平成15年8月8日～ 平成15年10月31日
不具合の部位等	原動機のカムシャフト駆動用ヘッドアイドラギヤのブッシュの加工が不適切なため、当該ギヤの固定シャフトとブッシュの間にガタが生じ、シャフトつば部の付け根に過大な応力が発生するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、つば部が破損してギヤが周辺部品と干渉し、異音が発生する、又はエンジンオイルが漏れ、最悪の場合、当該ギヤの噛み合いが外れて、原動機が停止し再始動不能となるおそれがある。			

7. 届出者：本田技研工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月16日	1523	車名：ホンダ 型式：AAA-ZE1 通称名：インサイト	12	平成17年6月9日～ 平成17年7月12日
不具合の部位等	EGR（排気ガス再循環）装置において、シリンダヘッドの加工が不適切なため、排気ガスを再循環させるための孔が貫通していないものがある。そのため、EGR装置が機能せず、排出ガス値が基準値を超えるおそれがある。			

8. 届出者：日産自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月21日	1522	車名：ニッサン 型式：NL01等 通称名：ニッサンフォークリフト	63	平成16年7月8日～ 平成17年7月20日
不具合の部位等	LPG圧カスイッチ（LPGボンベのガス残量を警告するスイッチ）の内部構造が不適切なため、気密性が低いものがある。そのため、そのまま使用を続けると、LPガスがスイッチ内部を介して外部へ漏れるおそれがある。			

9. 届出者：小松フォークリフト株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月22日	1525	車名：小松 型式：M161等 通称名：FD35NT-7等	37	平成11年3月4日～ 平成11年10月4日
不具合の部位等	原動機において、ピストン及びクランクシャフトを連結するコネクティングロッド大端部付近の強度が不足しているため、高負荷運転の繰り返し荷重により、コネクティングロッド大端部付近より亀裂が発生するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、最悪の場合エンジンが破損し走行できなくなるおそれがある。			

〔参考〕

平成17年9月のリコール届出総件数	内 訳		
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	29件	23件	6件
輸入車	6件	3件	3件
計	35件	26件	9件

対象台数の追加の届出については届出件数に含まれません。

（問い合わせ先）

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課 リコール対策室 中村、久手 電話 03-5253-8111（代表）（内線42352・42353）
----------------------------------------------------------------------------